

地域小規模わかな

3月24日、令和5年度の締めくくりとして、わかなの庭でバーベキューを行いました。みんなお肉や野菜、エビやホタテなどを焼いているのを見て、もう待ちきれないという様子でした。焼けたお肉や野菜等を口いっぱい頬張っては「美味しい！おかわり！」と美味しそうに言い、焼いている職員もそんな子どもの姿にお腹が空いてきました。終始子どもたちは2023年度の思い出を振り返りながら楽しんでいました。

令和5年度最後のBBQ

今回卒業式を迎えた子や来年度に向けて頑張る子に向けて、みんなが主役といったバーベキューで、令和5年度最後に相応しい時間となりました。来年度もわかなみんなとバーベキューを行えたらと思います。



保育士 上野麗奈



令和6年度 学園だより 第571号 春号

編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL <https://www.saiseikai-kawana.jp>

新施設長挨拶

施設長 高橋麻紀

4月ほど「新しい」という言葉がぴったりな月はないかもしれません。そこかしこで新しいスタートが切られており、花々もそれを応援しているかのように咲き乱れ、気持ちを晴れやかにしてくれています。

当園でも、竹居施設長の退職に伴い、新たな体制での運営が始まりました。令和6年4月1日より施設長に就任致しました高橋麻紀です。昭和30年 自然豊かな川奈の地に虚弱児施設として誕生した川奈臨海学園に平成7年に入職しました。入職して間もない頃、中学生の男の子から「まきりん」というニックネームで呼んでもらうようになり、それから29年間、時には笑い、時には泣き、時には厳しさを持ちながら、子どもたちと大切な1日1日を積み重ねてまいりました。

平成10年には児童福祉法の改定により、虚弱児施設から児童養護施設へと移行し、時代の流れについていけず、挫けそうになった自分を支えてくれたのは子どもたちと職員のみなさんでした。

令和3年に大規模改築を行い、大舎制から少人数制の養育環境(ユニット化)になってから3年が経ちました。まだまだ子どもたちも職員も戸惑うことや悩むことも多いですが、川奈臨海学園の基本理念にもある「子どもたちの最善の利益」を常に念頭に置き、「自立に向けた支援」を目指しております。子どもたちの笑顔を守れるよう、職員一同、力を合わせて支援を行っていききたいと思います。

今後も退園した子どもたちが、いつでも「ただいま」と帰ってこられる学園となれるよう、努力していきたいです。

寄付

- ・東静岡ヤクルト販売株式会社様
- ・伊東市更生保護女性会様
- ・馬淵商事様 ・井上魚屋様 ・大石誠様
- ・DASKA&DESIREE様
- ・静岡県ボランティア協会様
- ・マルハンメガシティ三島駿東様



編集後記

暖かい春の陽気と共に始業式や入学式とそれぞれ新たなスタートをきり、子どもたちはドキドキ、ソワソワしながら登校して行きました。

休日には外で元気に遊ぶ子どもたちの声が聞こえ、担当ユニットの子どもと一緒に外で遊び、子どもの元気さにいつもパワーをもらっています。今年度はどんな1年になるのか楽しみです。

保育士 土屋 菜織

川奈臨海学園基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるよう支援を行う

交流会

- | | |
|----------|-------|
| 木工ボランティア | 菱田夫妻様 |
| 学習ボランティア | 紀藤信哉様 |
| 散髪ボランティア | 野口伏美様 |
| | 伊石裕司様 |

コロナによる影響も落ち着きボランティアさんの様々な活動で子どもたちに楽しいひと時を提供していただいております。みなさまのご協力には大変感謝しております。

コロナによる影響も落ち着きボランティアさんの様々な活動で子どもたちに楽しいひと時を提供していただいております。



帰省期間

6月14日～6月16日

7月26日～8月18日

帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しております。

尚、予定されている帰省期間は、感染症の流行状況に応じて変更する可能性がありますので、ご承知おきください。

男子フロア

寒さが残る3月19日、男子フロアでは1人の男の子が市内の小学校を卒業しました。着なれない服を身にまとい、無事卒業証書を受け取りました。部屋でこっそり練習していた卒業の歌や卒業の言葉も、堂々とした表情でやりきることが出来ました。この日は小学校の思い出話に花を咲かせ、6年間を振り返りました。6年間の中でコロナウイルスによって中止となった行事も少なくありませんが、徐々に復活していることに子どもだけでなく職員も喜びを感じています。

小学校卒業式



4月からは中学生です。まだ少し大きい制服に袖を通し、彼らの新しい生活が始まっています。

保育士 山本 佳代子



連絡事項

連絡事項	
身長	cm
体重	kg

女子フロア

3月23日の朝、204ユニットの5人は、宇佐美の『イエス！ストロベリー』という所にイチゴ狩りに行きました。

子どもたち全員、いちごは大好きですが、いつでも食べられる物ではなく憧れの果物です。イエス！ストロベリーに着くと、まず全員に練乳が配られました。ビニールハウスの目の前に『いちご狩りの強者』といった風貌のおじさんが立っており、自分たちに配られた練乳よりも遥かに多い、自前の練乳を持って来ていた為、自分たちのいちごが足りるかどうかが少し不安になりました。しかしビニールハウスに入ってびっくり！先ほどの心配が吹き飛ばすほど、目の前に数えきれない数のいちごが実っており、見たことがないくらい大きないちごもありました。



イチゴ狩り



それぞれ1番大きいと思ういちごを手に取り、どっちが大きいか比べっこをしていました。また、聞いたことがない様な珍しい品種のいちごもあり、どの品種が1番おいしいのか食べ比べもできました。そうこうしているうちに、子どもたちはすっかりお腹がいっぱいになってしまい、「ああ・・・もうこれ以上無理・・・」と言いながらイエス！ストロベリーを後にしました。とても楽しい体験でした。

児童指導員 岡 雅代



地域小規模あおぼ



あおぼ開設の際に本館からあおぼに移ることになり、転校をした子がいます。彼は当初、恥ずかしさからか友達の輪に入れず、下校してくる度に、「前にいた小学校に戻りたい、卒業式まで我慢」と寂しい思いをしていました。それからあっという間に1年が経ち、いよいよ卒業式です。彼の言葉が頭から離れず、心配もありながら参加した卒業式。彼は沢山の友達に囲まれていました。帰園後、彼の口から「俺、2つの学校で友達出来たから、沢山友達がいるんだ」と1年前と見違えるように変わった彼に感動しました。その後、あおぼで卒業を祝う会を行い、他の子や職員にお祝いされながらケーキを頬張りました。

次はいよいよ中学生です。心配もありますが、彼ならきっと1年後、また同じように成長した姿を見せてくれるでしょう。

保育士 小川 祐輝

小学校卒業式



新任職員紹介



4月から川奈臨海学園に配属となりました。実習でお世話になった川奈臨海学園で子どもたちに携われる事が、とても嬉しいです。地元を離れ、慣れない1人暮らしで不安はありますが、どのような時でも常に笑顔で、子どもに寄り添った支援ができるように頑張ります。社会人としても保育士としても、1年目でまだまだ未熟ですが、たくさんの事を吸収して子どもと一緒に自分も成長できる様、全力で努めていきます。よろしくお祈いします。

保育士 大澤 果林



今年度より川奈臨海学園で勤務させていただきます、千坂と申します。

低学年の子どもたちを担当させて頂いています。以前はホテル、レストラン等の厨房で調理を担当していました。今まで調理師として学んだ知識や経験を活かして子どもたちに楽しく美味しい食事を提供していきたいと思っています。

調理以外は初めての分野なので学ぶことも多く、戸惑うことの連続ですが、子どもたち1人1人に寄り添い、毎日が笑顔で楽しく過ごせるように成長を見守ってきたいと思います。

調理師 千坂 誠



幼児低学年フロア



4月8日、幼児低学年フロアの2名が市内の小学校へ入学しました。3月に幼稚園を卒園し、「幼稚園終わるなんて嫌だよ・・・」「次行くのは小学校か～」と幼稚園を名残惜しく思い、小学校に対して不安をこぼしていました。入学式当日は慣れないスーツを身にまとい、真新しいピカピカのランドセルを背負って、施設長をはじめ学園職員に見送られながら、入学式に向かいました。入学式では2名とも緊張から、顔が強張っていたため少し不安もありましたが、最初から最後まできちんと先生方の話を聞いていました。呼名時は大きな声で返事ができており、よく頑張っていたと思います。



小学校入学式



小学校では、これから2名にとって初めての経験がたくさん待っています。幼稚園にはなかった勉強、更には幼稚園とは全く違う環境や日課に初めは戸惑うと思いますが、職員一丸となって支えていきたいと思っています。これから6年間の成長がとても楽しみです。

保育士 佐々木 留海

